



上原 英治
代表取締役副会長

安西 邦夫
代表取締役会長

市野 紀生
代表取締役社長

順調なスタートを切った「フロンティア2007」 計画達成への確かな足がかりを築く

株主ならびに投資家の皆さまには、平素より当社事業へのご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。

2003年度は、規制改革の進展や自由化範囲の拡大が当社事業に与える影響を最大限に織り込み、東京ガスグループとして進むべき今後の方向・戦略を明らかにした「フロンティア2007(2003年度～2007年度東京ガスグループ中期経営計画)」の初年度でございましたが、コア事業であるガス販売が好調であったことから、連結売上高は前期比2.1%増の1兆1,518億円と過去最高となりました。年金数理差異の一括償却などによる特別損失により、当期純利益では減益となったものの、営業利益は前期比23.5%増の1,523億円となり、中期経営計画の初年度として大変順調なスタートが切ることができたとの手応えを感じております。

また、先に述べた一過性の要因を除けば、期初の年度目標を大きく上回るフリーキャッシュフローを創出することができ、今後の事業見通しでも最終年度目標を上回る見込みを得ましたので、当期から1株当たりの配当を年間6円から7円に増額させていただきました。

当社は新たなグループ体制のもと、2004年度も企業価値をさらに高め、株主・投資家の皆さまをはじめ、すべてのステークホルダーのご期待にお応えできるよう努力してまいります。今後とも変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役会長

代表取締役副会長

代表取締役社長

安西邦夫 上原英治 市野紀生